

# 令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

武蔵野市

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

0人

## 1 学童クラブの待機児童が発生している原因

市内においてマンションの開発が行われており、地区により毎年児童数が増加している。また、共稼ぎ世帯の増加によると思われるが学童クラブへの入会率も増加している。現在定員を超えた受け入れをすることで待機児童が発生していないが、定員を超えて受け入れているクラブでの受け入れも安全面を考えると限界があり、今後対策を行わないと待機児童発生してしまう恐れがある。

## 2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

### (1) 方針

待機児童を出さないために施設整備を行う。

### (2) 具体策

学校及び教育委員会と協議を行い、学校の空き教室を学童クラブ室に転換する、または特別教室との共用化を図り、学童クラブの支援単位の増設を行い定員を増やすことで待機児童を出さないようにする。また、暫定対応として定員以上の受入を行う。

## 3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を待機児童にすることなく、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることができる。

## 4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	6447	6461	6412
増減	-	14	(49)
登録児童数	1597	1684	1679
増減	-	87	(5)
待機児童数	0	0	0
増減	-	0	0

## 5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計
小学生児童数	6401	6288	6157	5994	
増減	(11)	(113)	(131)	(163)	
申込児童数	1761	1863	1862	1950	
増減	-	102	(1)	88	
登録児童数	1761	1863	1862	1950	
増減	82	102	(1)	88	
確保策の手法	学校及び教育委員会と協議を行い、学校の空き教室を学童クラブ室に転換する、または特別教室との共用化を図る。		学校及び教育委員会と協議を行い、学校の空き教室を学童クラブ室に転換する、または特別教室との共用化を図る。	学校及び教育委員会と協議を行い、学校の空き教室を学童クラブ室に転換する、または特別教室との共用化を図る。	
待機児童数	0	0	0	0	
増減	0	0	0	0	